

石川県防災会議（議事要旨）

1 日 時

平成22年5月14日（金） 13：30～14：00

2 場 所

石川県庁行政庁舎 11階 1105会議室

3 主 催

石川県防災会議

4 議 題

- (1) 石川県地域防災計画の修正について
- (2) 平成22年度石川県水防計画について

5 出席者

石川県知事ほか49名

6 会議結果

会長（谷本石川県知事）のあいさつに続き、会長が議長となって議事に入った。

まず、議題（1）「石川県地域防災計画の修正について」、次に（2）「平成22年度石川県水防計画について」事務局から説明した。

質疑応答の後、原案のとおり承認を得た。

※委員からの意見及び事務局の回答の要旨

<意見（消防協会）>

我々消防団は水防団でもあり、日々気象台の気象情報等について注意を払い、住民の避難誘導、水害防止等に活動している。

注警報が各市町ごとに発表されることの効果等について、具体的に説明いただきたい。

<回答（気象台）>

注警報を市町単位で発表することによって、住民が自分のところが該当するかどうか分かりやすくなること。また、二次細分区域にとらわれず警戒を要する市

町のみで発表でき、関係機関が必要以上に待機することを避けることが期待される。

これは、平成16年の災害で高齢者の方がたくさん亡くなられたことを契機に、中央防災会議での検討や国土交通省の政策レビューとして気象の防災対策を進めてきたことの一環である。

<意見（北陸地方整備局）>

ゲリラ豪雨に対応できるよう、より精度が高いデータを得るため、Xバンドレーダーを能美市に整備したところであり、これから検証等を行い、平成25年度から本格運用できるよう準備を進めている。

<意見（消防協会）>

注警報の発表について、大きな市になると、山間地と海岸沿いで分けられるとありがたい。

<回答（気象台）>

これからの課題と考える。

<意見（土木部長）>

土砂災害の危険性が高まった場合に、気象台と土木部で土砂災害警戒情報を発表しているが、その基となるスネークラインの情報についてホームページで見ることができる。